**職　務　経　歴　書**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　20xx年xx月xx日現在

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　○○ ○○

**■職務要約**

大学にて機械工学を学んだ後、エンジニアリング会社にてLNGプラントの機械設計エンジニア、コンストラクションマネージャーに従事。その後重電メーカーにて火力発電プラント、メガソーラーのプロジェクトマネージャーとして、複数のプロジェクトを遂行しております。

**■職務経歴**

□20xx年xx月～20XX年XX月　○○エンジニアリング株式会社

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 期間 | 経験 | メンバー/役割 |
| 20xx年xx月　～20xx年xx月 | ～～国　XXXX LNGプラント新規建設プロジェクト【請負金額】　〇〇〇〇億円【担当業務】機械エンジニアとして、以下の業務に従事・回転機器設計・要求仕様策定　（コンプレッサ、ポンプ、ブロア等）・機材購入先選定、契約交渉・ベンダー設計図書レビュー、品質管理・機器据付工事SV　※6か月間現地駐在【ポイント】コスト低減のため新たな新興国ベンダーを採用したには要求仕様の伝達に苦慮したが、出張や電話会議を重ね、無事品質基準を満たす機器の納入に成功。コストを従来比20%低減した。 | 設計エンジニア（メンバー：10名） |
| 20xx年xx月　～20xx年xx月 | ～～国　～～石油精製プラント建設プロジェクト【請負金額】　〇〇〇〇億円【担当業務】建設サイトスタッフとして現地に駐在し、以下の業務に従事・主要機器の不具合の発見、補修業務・主要回転機のプレコミッショニング業務・プラントの試運転業務 | コミッショニングエンジニア（メンバー：5名） |
| 20xx年xx月　～20xx年xx月 | ～～国　XX社 既設LNGプラント増設プロジェクト【請負金額】　〇〇〇〇億円【担当業務】施工管理エンジニアとして、以下の業務に従事・施工計画立案・現地建設事業者の選定、契約・工程・コスト・品質・安全管理・客先との折衝【ポイント】アジア6か国から集まった多国籍なチームメンバーを取りまとめ、日々密接なコミュニケーションをとり、プロジェクトを遂行。トラブルにより、度々計画変更を余儀なくされたが、客先の了承の下柔軟に対応。無事予定工期にて完工した。 | コンストラクションマネージャー（メンバー：20名、ワーカー200名） |

□20xx年xx月～現在　○○電機株式会社

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 期間 | 経験 | メンバー/役割 |
| 20xx年xx月　～20xx年xx月 | ～～電力向け　ガス火力発電所改造プロジェクト【請負金額】　〇〇〇〇億円【設備規模】　XX万kW×〇基【担当業務】プロジェクトエンジニアとして、以下の業務に従事・設計取りまとめ・仕様書取りまとめ、サプライヤ折衝・見積作成、客先提案・折衝・施工事業者選定、折衝、工事監理【ポイント】プロジェクト期間中に客先から吸い上げた潜在ニーズに対し、柔軟に提案を実施。〇億円の追加受注を獲得できた。 | プロジェクトエンジニア（PM以下メンバー：20名→部下3名のチームリーダーとして従事） |
| 20xx年xx月　～20xx年xx月 | ○○太陽光発電所開発プロジェクト【請負金額】　〇〇〇〇億円【設備規模】　〇〇〇kW【担当業務】大規模太陽光発電所開発事業において、以下の業務全体を統括、推進。・用地選定・日照量評価、事業性評価・造成計画立案、許認可取得・地権者交渉、地域住民対応・EPC事業者選定・技術管理（設計、施工全般）【ポイント】新規事業として、自社初の太陽光発電所開発プロジェクトに取り組んだ。事業性評価については社内にノウハウがなく難航したが、外部コンサルを活用しつつ、プロジェクトを遂行した | プロジェクトマネージャー（メンバー：15名） |

**■活かせる経験・知識・技術**

・機械工学の知識、回転機器設計・据付・試運転にわたる幅広い経験

・発電事業開発にかかわる技術面の監理

・多様なメンバーを率いてのプロジェクトマネジメント

**■資格**

・普通自動車運転免許証（19xx年xx月）

・一級電気施工管理技士（20xx年xx月）

・第二種電気主任技術者（20xx年xx月）

**■語学力**

・英語力：ビジネスレベル（TOEIC750点）

※海外客先、ベンダーとの折衝、メールのやり取りなど。流暢ではないが問題なく対応可能。

**■自己ＰＲ**

Oil & Gas分野から火力発電、太陽光発電まで、多様なプロジェクトを経験。設計から建設、事業者としてのプロジェクト全体のマネジメントまでの経験を通じ、プロジェクト全体を俯瞰して課題を特定し、早期に解決するスキルを身につけた。利害関係や文化的背景が異なるメンバーを率いた経験も強みとなっている。

以上